



天皇皇后両陛下は、5月12日、上皇ご夫妻から引き継いだ「こどもの日」にちなんだ訪問として、高森中央小学校をオンラインでご訪問され、児童と交流されました。

天皇陛下は、今年2月の誕生日記者会見で、「オンライン訪問には、感染症対策としての利点以外にも、同時に複数の場所にいる人々に会うことや、中山間地域など通常では訪問が難しい場所でも訪問できるという利点があることを実感いたしました」と述べられ、これからも状況に応じてオンラインを活用していきたいと話されていました。

「こどもの日」にちなんだご訪問をオンラインで行われることは全国でも初であり、高森町が取り組んできた情報通信基盤整備事業や高森町新教育プランに基づく10年間にわたるICT教育への取り組みが評価されたものと考えられます。

両陛下とのやり取りを詳しくお伝えします。

天皇皇后両陛下は、まず、草村町長、佐藤教育長に対し、新型コロナウイルスや5年前の熊本地震、去年の豪雨被害の影響について気遣われ、その上で町が積極的に取り組んでいるICT教育について、メモを取りながら熱心に聞かれました。児童1人に1台のタブレットが配布されていることについて、陛下は「色々なご家庭もあり、通信の整備といったことが大変なのではないですか」「ICT教育を積極的に活用するのは、先生方のご準備も大変なこともあるのではないですか」とお尋ねになり、皇后さまは「10年前から考えられたのは、きっかけというか理由がおりになるのですか」と質問されました。

草村町長からは、県民一丸となって復

旧に努めており、南阿蘇鉄道の復旧を除き大きなインフラは戻りつつあることを、また佐藤教育長からは、町長のリーダーシップのもと町議会や町民の理解を得て、10年間にわたるICT教育を進めることができたことなどを答えると、両陛下はうなずきながらお聞きになりました。

子どもたちが画面に映ると、両陛下は満面の笑みで「こんにちは」と声を掛けられました。陛下は、「学校生活を送っていて一番楽しいことはどんなことですか」「一番好きな科目はなんですか」「これからどんな本を読みたいですか」などと一人一人に質問され、授業の中で新聞社と連携して紙面づくりを体験したことについて、「新聞づくりをやってみて、新聞の読み方、見方は変わりましたか」とお尋ねになりました。

皇后さまが「仲の良いクラスですか」とお尋ねになると、6年2組の児童たちからは「はいっ」という大きな返事があり、皇后さまは「とても元気な良い返事が返ってきましたね」と嬉しそうに伝えられました。

最後に陛下は、「皆さんとこういう形でお会いできてとても嬉しかったです。くれぐれも体に気を付けて有意義な学校生活を送ってくださいね」と語りかけられ、皇后さまも「楽しく充実した毎日を送られること、運動会も楽しく良い運動会になるといいですね」と笑顔を見せられ、両陛下は両手を振り、お別れの挨拶をされました。

当日、天皇皇后両陛下が閲覧された映像を以下のQRコードから視聴できます。

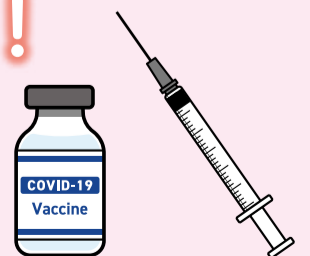


ぜひ一度ご覧ください。
※行幸啓(ぎょうこうけい)とは天皇皇后両陛下がご一緒に外出されることです。



新型コロナワクチン詐欺にご注意ください!

- 行政機関等をかたった「なりすまし」にご注意。
- ワクチン接種は無料です!
※接種を受ける際の費用は全額公費で負担されます。
- 電話・メールで個人情報を求めることはありません! 市町村から「接種券」接種のお知らせが届きます。
- ★ 「不安だな」「あやしいな?」「困ったな」と感じられた場合は、すぐに消費生活相談室等へ相談しましょう。



問 消費生活相談室 ☎ 62-1111 (内167)